

愛知スキー協通信 No.349

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2024年3月1日
〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801(Fax 共)

e-mail: aichiskikyokai@yahoo.co.jp

http://aichiskykyou.yukigesho.com/



編集：深雪スキークラブ

盛り上がったスノーフェスティバル

2024/1/26 (金) 夜~28 (日) in 平湯温泉

コロナが第5類になってから初めてのフェスティバル、各県の協力もあり、全体で155名の参加がありました。天候にも恵まれ、大きな事故もなく楽しく過ごすことができましたと思います。教室も指導員の協力で皆さんレベルアップしていました!!

面白競技会は雪上ポッチャで多くの方の参加で盛り上がりました! 来年は賞品を増やして行きます。又会いましょう。(実行委員長 佐藤実)



1/28 競技会後記念撮影



1/27 スノーシューで上高地河童橋へ



1/27 保育風景



1/28 山スキー

スキー教室



30 名の方が参加され(当日のコース変更と飛び入りあり)、レベルに応じたクラス毎に行いました。

ふだんフリーで滑っている方も、指導員のアドバイスで、上達のコツをつかんだようです。第 2 ペアリフトに乗って、湯の平コースに行くと、絶景も楽しめ、難易度はありましたが、滑れる自信にもつながったようです。(岐阜雪だるま・永野)



ボード教室



参加者 6 名

今年は希望者が多く、ボード指導員 2 名体制をとって対応するつもりでしたが、1 名が病気で参加出来なくなりました。2 名の初級者を午前中、現地のボード教室の力を借りて実施。午前中だけで、グンとうまくなった参加者。午後は 1 名の指導員で楽しくスノーボード教室を実施しました。

スノーシュー 参加者 16 名

1 日目は上高地の釜トンネルから河童橋へ。道は違えて往復しました。速さの違いで列は長くなりましたが、無線機で前と後ろの連絡が即座に出来てトラブル対応にも心強いアイテムです。コースは 16km 以上の長めの歩行距離になり、休憩が十分に取れないことが上高地コースの難しさです。



1/28 乗鞍高原を歩く

2 日目は乗鞍高原の一ノ瀬園地を歩きました。高低差も若干あり疲労も残り気味ですので、トイレを中心にして池の上や、湿地帯の広い場所を自由に歩いて、乗鞍も見えて開放的な行動となりました。余裕のある人は計画にはありませんでしたが善五郎の滝まで行き、アイスクライミングの様子が見学できました。2 日間天気にも恵まれて良い山行になりました。(愛知深雪・戸川)

ネイチャースキー

第 1 日目、参加者は 7 人。天候はややうす曇りながらもまずまず。体慣らしに近くの平湯大滝に行き、その後、ゲレンデに戻り、10 時くらいから、基礎的な講習を行いました。不整地の斜面を登高し、直滑降やボーゲンで滑降するトレーニングです。不整地だと、滑りも遅いし、谷回りの回転も正しい姿勢でないとスムーズでなく、みんな苦勞していました。午後近くのキャンプ場をゆっくりとスキーハイキングし、国道から分岐するスカイラインに入り、積雪が 50cm くらいで結構なラッセルでした。15 時くらいまで、ハイクアップ。帰りはゆるやかな、滑降を楽しみました。

2 日目は乗鞍高原スキー場から一ノ瀬園地へのコース。まず、リフト



1/28 乗鞍岳をバックに

2本あがり、エコーラインを徐々に下っていきます。例年と比べると雪がかなり少ない。その後、林間に入り、東大ヒュッテ前の広場で、早めの昼食タイム。乗鞍剣が峰の絶景のポイントですが、やや雲があらわれ、頂上は雲に隠れていました。午後再び、エコーラインにでて、国民休暇村、牛留池をぶらぶらして、一ノ瀬園地への径をとりまわります。途中、やや斜度のあるところがあり、みんな俄然張り切って滑降しました。ただ、雪がぼこぼこの不整地と滑ったあとの深いわだち状やすずきや枯草が露出していて、少し苦労しました。一ノ瀬園地への分岐点から観光センターの方へ向かい2時半くらいに到着。バスで帰路につきました。

ネイチャースキーは滑降より、むしろ歩きです。自然の中での歩きであり、山スキーやゲレンデでの滑走と比べても味わい深いものです。(愛知ぶなの木・堀木)

山スキー

1月27日(土) 参加者:9名 入門コース 久手牧場山スキー

日帰り参加者2名と登山口で合流。参加者でビーコンチェックをしてシール登行を開始。下の牧場から



1/27 久手牧場の新雪を滑る

尾根に入る所で登高ターンの練習をした。斜面で休憩時に深雪での転倒時の起き上がる方法を実演。上のゲートで休憩し、尾根道を牧場トップへ。天気も曇りから晴れ間も見えるようになった更に少し登った1710m地点でシールを外して深雪の斜面を滑降した。斜面下でザックを下ろし、昼食後にもう一度シールを付けて空身で登り返し滑降した。そこから長い林道滑り降りた。途中からは先行者がおらず先頭がラッセルしながら滑ることになったため、先頭を交代しながら滑った。登山口に戻り、各自のビーコンの動き方の確認、持っているゾンデ棒

(プローブ)を伸ばして雪に刺してみる、スコップで雪を掘ってみる等各自の装備を実際に使ってみた。日帰り参加者もあり、現地解散とした。

1月28日(日) 参加者3名 健脚コース 輝山

2名の先行者があった。ビーコンチェックをして4名で出発。入山口から20分程登高したところで、1名にトラブルが生じたため下山し、3名は登高を続け昼前に頂上に到着、30分程昼食休憩後滑降を開始した。13時30分登山口に下山した。例年より少し雪が少なく、ギャップがあったりして苦労したが、30~40cmの新雪で雪は良かったとのこと。中村館に戻り解散した。(岐阜アспен・浅野)



1/28 輝山から下山

おもしろ競技会 参加者30名 1/27(土)誰でも参加できる競技会(雪上ボッチャ)



賞品を選ぶ参加者



雪玉を赤いラインの中のゴールへ投げる



競技会(第1戦 大回転) エントリー106名

雪不足で対策を練り何とか実施したいと考えていましたが、直前の降雪で普通にセットして実施できました。1月1日に起きた能登半島地震に鑑み、中部日本スキー大会が中止になりました。中高生は27日土曜日で日曜日参加できますが、それ以上は日程が重なっていました。参加を予定していた人が子供を連れて参加してくれましたが、100名を超すことができず残念でした。競技自体は、好天で計測も順調で大変スムーズでした。特に小学生1~4年男子と女子 60代男子 70代男子は人数も多く激戦でした。加えて40代男子は国体選手もいてレベルも高くコンマ差を争う激戦でした。なお、中学男子1位がベストタイムでその後の全中SLで5位に入賞しました。スノーボード用のフラッグで誰でも安心して滑ることができます。前日の練習でスキー教室の人も試走ができ大会に参加できます。斜度も緩いですが、それでも技術差はしっかり出ていて見るだけでも参考になります。

ただ、小学生の部で賞状にたくさんのミスがあり、訂正して2日後に発送しました。また、賞品も大変喜んでいただけました。みなで準備し運営する大会も不備な点もありますが協力してでき素晴らしい大会になりました。競技委員長 澤田安利



上:緊張のスタート待ち

下:楽しい表彰式



2024 東海ブロックゴールデンウィーク ポール合宿

野沢温泉スキー場 5月3日~5日練習

アフタースキーも楽しい野沢温泉です。ポール練習をしない方も大歓迎です。

問い合わせ・申し込みは、澤田 090-2180-8644

2024 乗鞍大雪渓を滑ろう

主催:愛知スキー協山スキー部

さつき晴れの一日、雄大な乗鞍の雪渓を滑りましょう。大きな雪渓・素晴らしいオフピステです。



日時 2024年4月28日(日)日帰り 集合 三本滝駐車場 8:00

*4/28が雨予報の場合は中止します。その場合は4/26に連絡します。

持物・用具は参加申込者に別途連絡します。

前泊 4/27(土)前泊希望の方は浅井へ連絡して下さい。料金は別途です。

参加費 約 1,500 円(救出基金・事務諸経費等)

参加申込みは、愛知スキー協・浅井千恵へ FAX 又はメールしてください。

FAX 0562-32-0205 メール asaichie@ma.medias.ne.jp